

(For School teacher)

Form 5

平成22年 2月 15日

## サイエンス・ダイアログ事業 実施報告書

1. 参加機関(学校名)・担当者: 京都教育大学附属高校・高田哲朗
  2. 参加研究者: Dr. Erik M. Muller
  3. 実施日時: 平成22年2月12日(金) 16:40 ~ 18:00
  4. 参加生徒: 1年生 12人、2年生 5人、 年生 人(合計 17人)  
備考: (例:理数科の生徒) ハワイ研修参加生徒 4名、SSC 天体観測参加生徒 8名、  
一般生徒5名
  5. 講演題目: (英文) Our Home Universe  
(和文) 私たちの故郷、宇宙
  6. 講演概要: 宇宙とは何か、天文学での単位、宇宙の大きさ、自分の研究の紹介  
最後に、太陽系の大きさを体感するためのデモンストレーションを実施
  7. 使用言語: 英語
  8. 講演形式:
    - (1) 講演時間 1時間 分 質疑応答時間 20 分
    - (2) 講演方法 (例:プロジェクター使用による講演、プレ実験など)  
パワーポイントを用いた講演、ベランダでのデモンストレーション
    - (3) 通訳 (例:受入研究者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)  
なし
- 協力者 職・氏名
- \_\_\_\_\_
- (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)  
ハワイ研修参加生徒には講演のスライドを事前に配布して予習を求めた。
9. 支給経費:  交通費  宿泊費  謝金
  10. その他特筆すべき事項: 生徒は英語だけでほぼ理解できたようだが、内容を一層深く理解させるためには、同行研究者の補足説明があれば、更に良かったとおもわれる。